

4 月 18 日に、本校 6 年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」について、結果がまとまりました。本調査は、国語と算数の 2 教科のテストと同時に家庭での過ごし方や学習時間を問う調査も実施されました。調査結果を基にして、本校の子どもたちの状況をお伝えします。

総合結果（国語・算数）

国語・算数ともに、全国平均を上回る良好な結果となりました。また、両教科ともに、無回答はほとんど見られませんでした。児童が問題に向き合い、最後まであきらめないで粘り強く取り組もうとする姿勢が育まれつつあります。

国語科より

全体的に良好です。中でも、「話し手の意図をとらえながら聞き、自分の考えをまとめる」では、全国平均を 20 ポイント上回っていました。

また、「目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて読む」では、18.2 ポイント上回っていました。「話すこと・聞くこと領域」「読むこと領域」において、着実に力を伸ばしています。

一方、調べたことを報告する文章を書く際に、「自分の考えの根拠となる事柄を明確にして、まとめて書くこと」に課題が見られました。

「調べて分かったこと」を整理して、それらをもとにして「自分の考え」をまとめ、文末表現（「分かりました。」「考えました。」等）に気を付けて書くことが大切です。

「事実」と「考え」を区別し、
文末表現に気を付けて書こう！

算数科より

全体的に良好です。中でも、「図形の性質や構成要素に着目し、ほかの図形を構成する」は、全国平均を 16.2 ポイント上回っていました。

また、「示された減法に関して成り立つ性質を基にした計算の仕方を解釈し、適用する」（350・97 を計算しやすいように 353・100 として計算する等）は、12.3 ポイント上回っていました。

ただし、「複数の資料（棒グラフ）の特徴や傾向に関連付けて判断し、その理由を記述する」

「示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述する」など、自分の考えを記述して説明することに課題が見られます。

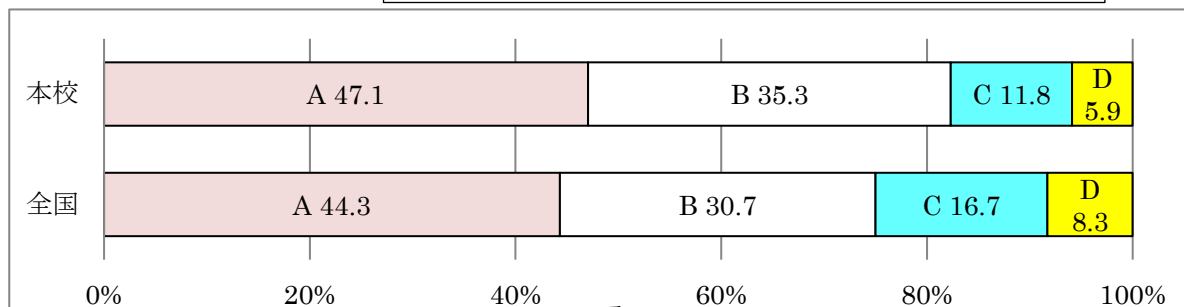
自分がどのように考えたのか、思考の筋道を言葉や数字、式などを用いて説明することができるようになることが大切です。

言葉や数、式などを用いて
自分の考え方を説明しよう！

児童質問紙調査から①

Q 読書は好きですか。

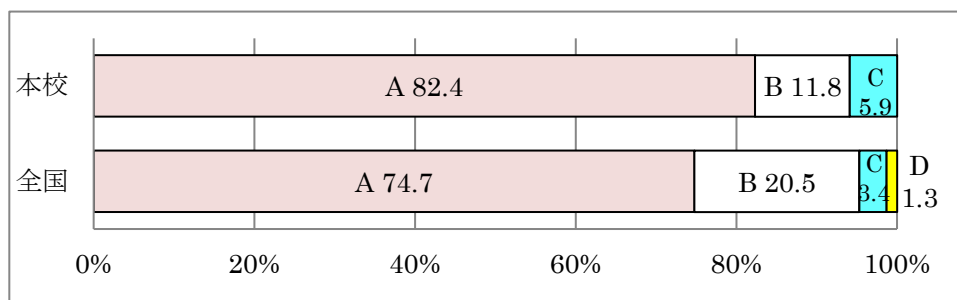
A 当てはまる B どちらかといえば、当てはまる
C どちらかといえば、当てはまらない D 当てはまらない



「読書が好き」と答えた本校児童の割合（A・B回答）は、82.4%で、全国平均を 7.4 ポイント上回っています。学校司書と連携した読書指導や昼休み後の「読書タイム」、図書ボランティアの方々による取組等が児童の読書意欲を高め、このような結果として表れているのではないかと考えています。今後は、さらに読書の質を高められるように、国語科では、教科書教材と関連させて、「同一作者の他の作品を読む」「他の作者による同一テーマの作品を読む」等、多読につながる授業を充実させたいと考えています。ご家庭でも親子で本を読む等、お子達と一緒に読書を楽しんでいただければと思います。

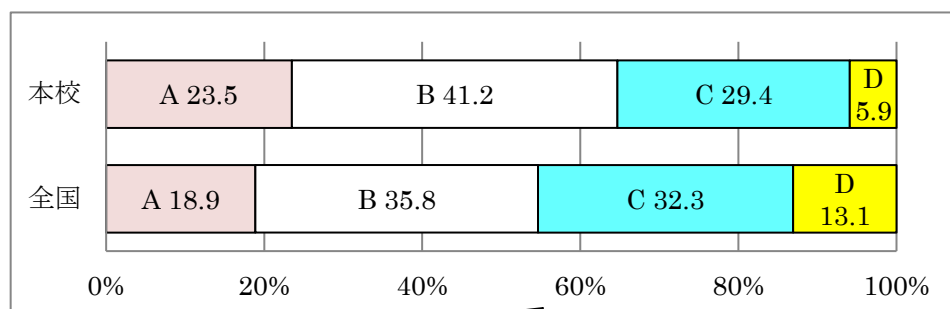
児童質問紙調査から②

Q 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。



A 当てはまる
B どちらかといえば、当てはまる
C どちらかといえば、当てはまらない
D 当てはまらない

Q 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。



A 当てはまる
B どちらかといえば、当てはまる
C どちらかといえば、当てはまらない
D 当てはまらない

「人の役に立つ人間になりたいと思う。」と答えた本校児童の割合（A・B回答）は、94.2%で、ほとんどの児童が肯定的な回答をしています。また、A回答だけで見ると全国平均を7.7ポイント上回っています。人権教育の取組を通して、児童の自己有用感が育まれていることが、このように周囲を大切にしようとする姿勢につながっていると考えられます。

また、「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」と答えた本校児童の割合（A・B回答）は、64.7%で、全国平均を10ポイント上回っています。これまで、生活科や総合的な学習の時間に高雄の魅力に触れ、「高雄のために自分たちにできることは何か」を課題として、学習を積み重ねてきた成果が表れ始めています。

今後も、自他を大切にすることを育成するとともに、学級活動やたてわり活動、E S Dを軸に据えた生活科や総合的な学習の時間等を通して、自分の力を学級や学校全体、さらに、地域に役立てようとする姿勢を育てていきたいと考えています。

全体を通した本校の成果と課題

児童質問紙調査の結果に表れているように、児童が「人の役に立つ人間になりたい」という「なりたい大人の姿」をイメージすることは、将来への展望をもつ上で大切です。そして、「なりたい大人の姿」を実現できるようにするためには、基礎・基本となる学力をしっかりと身に付けることが大切です。そのためにも、「分かりやすい授業」へと授業を改善するとともに、自学自習の習慣を定着させることで、学習内容の更なる定着を図りたいと考えています。また、学習を進める上で、自分にとって必要な情報を読み取り、読み取った内容を目的に応じて整理するなど、情報を収集する上での効果的な読み方を身に付けていくようにしたいと考えています。

保護者の方へ

全国調査は、子どもたちの学習状況を知り、可能性を更に伸ばしていくためのものです。結果が学力の全てを表しているのではなく、順位を競うものではありません。

学力は、望ましい生活習慣や、日常の学習習慣が基盤となり、学校・家庭・地域での地道な積み重ねによって定着していくものです。今後も引き続き、子どもたちの健やかな育ちと学びの環境づくりにご協力をお願い致します。